

情報 科 1 年		情報 I		年間授業計画（シラバス）	
科目名	情報 I	対象	スポーツ	コース	単位数 2 単位
教科書	情報 I Step Forward!			出版社	東京書籍
副教材	ポイントでマスター 基礎から始める情報リテラシー			出版社	実教出版

1 学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の 内容	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善する。
評価の 方法	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	学習課題 タイピング 提出物 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%、思考・判断・表現 35%、主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	オリエンテーション	- 情報 I の学習目標を理解する。 - シラバスを理解する。 - コンピュータ室の使い方を理解する。	○			1
	1 情報社会の問題解決 (1) 情報社会の問題解決	- 情報の特性から、情報とは何か理解する。 - さまざまなメディアの特性を理解する。 - 問題を発見・解決するための一連の流れを理解する。 - 問題の発見・解決に情報技術が活用できることを理解する。 - 問題解決の各場面で活用できる発想法を学習する。	○	○	○	5
5	2 コミュニケーションと情報 デザイン (1) 情報社会の問題解決	- メディアとコミュニケーションの変遷を学習する。 - メディアの特性を学習する。 - Web サイトの作成方法を学習する。	○	○	○	6

5	(2) 情報のデジタル表現	・デジタルデータとは何か学習する。 ・デジタルデータのメリットとデメリットを理解する。 ・2進法と情報の単位を学習する。 ・文字のデジタル表現を学習する。 ・音、画像、動画のデジタル化を学習する。 ・デジタルでの色の原理を理解する。 ・デジタル情報の品質の違いを学習する。 ・データの圧縮を学習する。 ・論理回路を学習する。	○	○	○	6
6 7	プレゼンテーションソフトの活用	・PowerPoint を利用してプレゼンテーション資料の作成についての技能を身につける。 ・探究学習の資料作成を進める。	○	○	○	5
	<期末考査>		○	○		1
8 9	3 コンピュータとプログラミング (1) コンピュータの仕組み	・コンピュータの基本構成を理解する。 ・ハードウェアとソフトウェアを理解する。 ・プログラムの動作の仕組みを学習する。 ・コンピュータの演算の仕方を学習する。 ・コンピュータの処理のための基本的な回路を学習する。	○	○	○	4
9	プレゼンテーション	・探究学習の資料作成を進める。 ・プレゼンテーションの方法を身につける。		○	○	4
9	(2) プログラミングとアルゴリズム	・アルゴリズムの必要性を理解する。 ・アルゴリズムの表現方法を学習する。 ・プログラムの作り方を学習する。	○	○	○	4
10	文章作成ソフトの活用	・Word を利用して文書作成の技能を身につける。	○	○	○	5
11	表計算ソフトの活用	・Excel を利用して表計算ソフトの使用法を身につける。	○	○	○	5
12	<期末考査>		○	○		1
1	4 情報通信ネットワークとデータの活用 (1) 情報通信ネットワーク	・情報通信ネットワークとは何か学習する。 ・LAN と WAN の違いを学習する。 ・プロトコルと、その1つとして TCP/IP を学習する。 ・ネットワークを構成するハードウェアを学習する。 ・サーバの役割を学習する。 ・インターネットでの IP アドレスと DNS の役割を学習する。 ・認証後に使えるようになるサービスには、どのようなものがあるか調べる。	○	○	○	7
2 3	(2) データの活用	・データとは何か学習する。 ・データの尺度とは何か学習する。 ・データベースの役割がどのようなものか理解する。 ・社会でのデータベースの活用例を学習する。 ・データベースで使用するデータモデルを学習する。 ・関係データベースを分析して、解釈する。 ・データ分析の流れと方法を学習する。 ・分析の目的に合わせたデータの利用方法を学習する。 ・適切なデータの解釈方法を学習する。	○	○	○	8
	<学年末考査>		○	○		1

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

情報 科 2 年		情報 I		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	情報 I	対象	進学	コース	単位数 2 単位
教科書	情報 I Step Forward!			出版社	東京書籍
副教材	ポイントでマスター 基礎から始める情報リテラシー			出版社	実教出版

1 学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の 内容	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善する。
評価の 方法	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	学習課題 タイピング 提出物 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%、思考・判断・表現 35%、主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a (知識・技能)、b (思考・判断・表現)、c (主体的に学習に取り組む態度)

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	オリエンテーション	- 情報 I の学習目標を理解する。 - シラバスを理解する。 - コンピュータ室の使い方を理解する。	○			1
	1 情報社会の問題解決 (1) 情報社会の問題解決	- 情報の特性から、情報とは何か理解する。 - さまざまなメディアの特性を理解する。 - 問題を発見・解決するための一連の流れを理解する。 - 問題の発見・解決に情報技術が活用できることを理解する。 - 問題解決の各場面で活用できる発想法を学習する。	○	○	○	5
5	2 コミュニケーションと情報 デザイン (1) 情報社会の問題解決	- メディアとコミュニケーションの変遷を学習する。 - メディアの特性を学習する。 - Web サイトの作成方法を学習する。	○	○	○	6

5	(2) 情報のデジタル表現	・デジタルデータとは何か学習する。 ・デジタルデータのメリットとデメリットを理解する。 ・2進法と情報の単位を学習する。 ・文字のデジタル表現を学習する。 ・音、画像、動画のデジタル化を学習する。 ・デジタルでの色の原理を理解する。 ・デジタル情報の品質の違いを学習する。 ・データの圧縮を学習する。 ・論理回路を学習する。	○	○	○	6
6 7	プレゼンテーションソフトの活用	・PowerPoint を利用してプレゼンテーション資料の作成についての技能を身につける。	○	○	○	5
	<期末考査>		○	○		1
8 9	3 コンピュータとプログラミング (1) コンピュータの仕組み	・コンピュータの基本構成を理解する。 ・ハードウェアとソフトウェアを理解する。 ・プログラムの動作の仕組みを学習する。 ・コンピュータの演算の仕方を学習する。 ・コンピュータの処理のための基本的な回路を学習する。	○	○	○	4
9	プレゼンテーション	・探究学習の資料作成を進める。 ・プレゼンテーションの方法を身につける。		○	○	4
9	(2) プログラミングとアルゴリズム	・アルゴリズムの必要性を理解する。 ・アルゴリズムの表現方法を学習する。 ・プログラムの作り方を学習する。	○	○	○	8
10	文章作成ソフトの活用	・Word を利用して文書作成の技能を身につける。	○	○	○	5
11 12	表計算ソフトの活用	・Excel を利用して表計算ソフトの使用法を身につける。	○	○	○	5
	<期末考査>		○	○		1
1	4 情報通信ネットワークとデータの活用 (1) 情報通信ネットワーク	・情報通信ネットワークとは何か学習する。 ・LAN と WAN の違いを学習する。 ・プロトコルと、その1つとしてTCP/IP を学習する。 ・ネットワークを構成するハードウェアを学習する。 ・サーバの役割を学習する。 ・インターネットでの IP アドレスと DNS の役割を学習する。 ・認証後に使えるようになるサービスには、どのようなものがあるか調べる。	○	○	○	7
2 3	(2) データの活用	・データとは何か学習する。 ・データの尺度とは何か学習する。 ・データベースの役割がどのようなものか理解する。 ・社会でのデータベースの活用例を学習する。 ・データベースで使用するデータモデルを学習する。 ・関係データベースを分析して、解釈する。 ・データ分析の流れと方法を学習する。 ・分析の目的に合わせたデータの利用方法を学習する。 ・適切なデータの解釈方法を学習する。	○	○	○	8
	<学年末考査>		○	○		1

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

情報 科 2 年		情報 I		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	情報 I	対象	特進	コース	単位数 2 単位
教科書	情報 I Step Forward!			出版社	東京書籍
副教材	ベストフィット情報 I			出版社	実教出版

1 学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の 内容	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善する。
評価の 方法	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	学習課題 提出物 タイピング 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%、思考・判断・表現 35%、主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a (知識・技能)、b (思考・判断・表現)、c (主体的に学習に取り組む態度)

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	オリエンテーション	- 情報 I の学習目標を理解する。 - シラバスを理解する。 - コンピュータ室の使い方を理解する。	○			1
	1 情報社会の問題解決 (1) 情報社会の問題解決	- 情報の特性から、情報とは何か理解する。 - さまざまなメディアの特性を理解する。 - 問題を発見・解決するための一連の流れを理解する。 - 問題の発見・解決に情報技術が活用できることを理解する。 - 問題解決の各場面で活用できる発想法を学習する。	○	○	○	5
5	2 コミュニケーションと情報 デザイン (1) 情報社会の問題解決	- メディアとコミュニケーションの変遷を学習する。 - メディアの特性を学習する。 - Web サイトの作成方法を学習する。	○	○	○	6

5	(2) 情報のデジタル表現	・デジタルデータとは何か学習する。 ・デジタルデータのメリットとデメリットを理解する。 ・2進法と情報の単位を学習する。 ・文字のデジタル表現を学習する。 ・音、画像、動画のデジタル化を学習する。 ・デジタルでの色の原理を理解する。 ・デジタル情報の品質の違いを学習する。 ・データの圧縮を学習する。 ・論理回路を学習する。	○	○	○	6
6 7	3 コンピュータとプログラミング (1) コンピュータの仕組み	・コンピュータの基本構成を理解する。 ・ハードウェアとソフトウェアを理解する。 ・プログラムの動作の仕組みを学習する。 ・コンピュータの演算の仕方を学習する。 ・コンピュータの処理のための基本的な回路を学習する。	○	○	○	5
	<期末考査>		○	○		1
8 9	3 コンピュータとプログラミング (2) プログラミングとアルゴリズム (3) プログラミングの実践	・アルゴリズムの必要性を理解する。 ・アルゴリズムの表現方法を学習する。 ・プログラムの作り方を学習する。 ・プログラムの制御構造を学習する。 ・プログラムで制御構造を組み合わせる方法を学習する。 ・プログラムの配列とリストを学習する。 ・プログラムでの関数の利用を学習する。	○	○	○	8
10 11 12	4 情報通信ネットワークとデータの活用 (1) 情報通信ネットワーク	・情報通信ネットワークとは何か学習する。 ・LAN と WAN の違いを学習する。 ・プロトコルと、その1つとしてTCP/IPを学習する。 ・ネットワークを構成するハードウェアを学習する。 ・サーバの役割を学習する。 ・インターネットでのIPアドレスとDNSの役割を学習する。 ・認証後に使えるようになるサービスには、どのようなものがあるか調べる。	○	○	○	7
	(2) データの活用	・データとは何か学習する。 ・データの尺度とは何か学習する。 ・データベースの役割がどのようなものか理解する。 ・社会でのデータベースの活用例を学習する。 ・データベースで使用するデータモデルを学習する。 ・関係データベースを分析して、解釈する。 ・データ分析の流れと方法を学習する。 ・分析の目的に合わせたデータの利用方法を学習する。 ・適切なデータの解釈方法を学習する。	○	○	○	7
	<期末考査>		○	○		1
1 2	総合演習	・演習問題を解くことで、実践的な学力を身につける。	○	○	○	15
3	<学年末考査>		○	○		1

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。